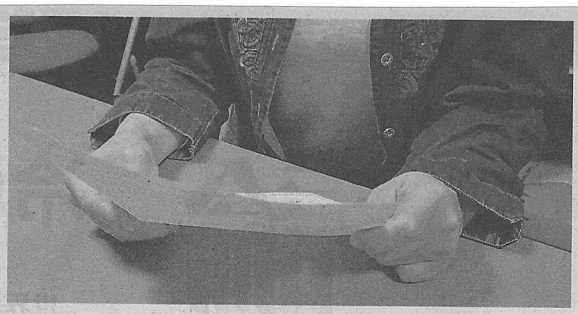
記事の

社会保険 拒まれる労働者

負担避ける事業主側「週末働けないなら」

適用逃れ 制度に不信

働き方の多様化に合わせ、政府は勤め人が加入する社会保険（厚生年金と健康保険）に中小企業で働く短時間労働者も広く加入させる方針だ。保険料負担が増す事業主の反対も根強いが、現状でも、保険料負担を避けたい事業主のもとで加入できない人がいる。制度見直しを求める声もある。【大和田香織、写真も】



千葉県の女性は会社との契約書に月間の出勤日数が実態よりも少なく書かれていた＝千葉県船橋市のなのはなユニオン事務所で

「店が忙しい週末や祝日に出勤できないなら、社会保険に入らずに働いてほしい」。関東地方で小学生3人を一人で育てる女性(36)は4月、勤務先の美容業の責任者からこう告げられた。今年度から国民年金と国民健康保険に切り替えざるを得なかった。

国民年金の保険料は事業主負担がない分、厚生年金と比べて負担の割に給付は下がる傾向にある。国民健康保険も事業主負担分がないことから保険料は健康保険よりも高くなるケースがある。

昨年までは、休日も夫に子どもを任せて働いたが、離婚後は一人で家庭と仕事の両立に追われ、休日は働けなくなった。社会保険に加入しない代わり、時給は40円アップの900円に。しかし、子どもの病気で休む日もあり、月の手取りは11万円程度にとどまる。

社会保険への加入義務が生じないよう店からは今も労働時間を月120時間未満に収めるよう厳しく言われ、開店前の掃除などは反映されない。「実労働時間を考えると私も加入対象ではないか」と割り切れない。

千葉県の食品製造工場で働く女性(46)は2013年にフルタイムで入社してから保険に加入できるまで1年近くかかった。採用面接時には「社保加入」の意思を確認されたが、「本社の承認がまだ」と待たされた。

個人加盟の労働組合を通じ団体交渉した結果、会社は入社時にさかのぼって加入手続きをした。女性は「会社の都合で加入できないのは困る」と話す。

全国コミュニティ・ユニオン連合会の関口達矢事務局長は「企業規模など条件を変えるだけでは事業主の適用逃れの問題は残る。制度への不信は消えないだろう」と話す。

日本年金機構は、保険の適用対象となる事業所で働く未加入者をチェックしている。18年度は32万6474件の事業所を調査。3万8072人の適用漏れが加入につながった。

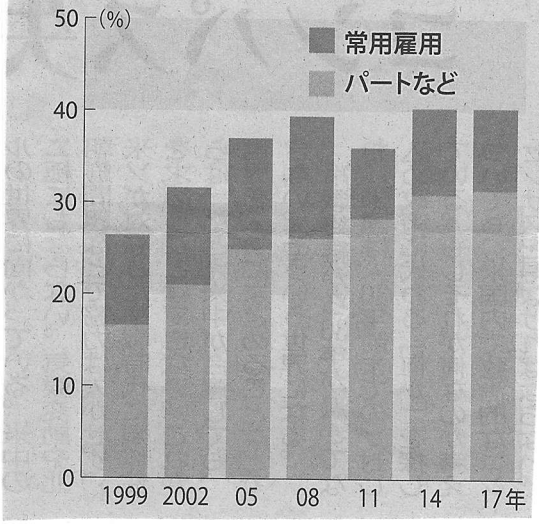
次頁へ つづき

毎日 12/4

社会保険の適用拡大

雇われて働く人が対象の社会保険（健康保険と厚生年金）で、加入義務づけの条件となる企業規模や労働時間、収入などの範囲を広げ、加入する労働者を増やしていく政府の政策。2016年10月からは、従業員501人以上の企業では労働時間が週20時間以上、月収8.8万円（年収換算106万円）以上で加入が義務づけられた。17年4月からは500人以下の企業も労使の合意があれば加入できる。保険料は労使で折半する。

国民年金加入者のうち会社に雇われている人の割合



前頁のつづき

副業・兼業の働く時間どう反映？

働き方が多様化する中、副業・兼業やフリーランスを念頭に置いた制度の対応も手つかずだ。兼業であっても、会社員に近い働き方をしている人も多い。

首都圏の男性(41)は障害者施設の非正規職員として働きながら月数回、副業で通訳の仕事をしている。

男性は、17年の制度改正で中小企業の短時間労働者でも、週20時間以上など条件を満たせば保険に加入できると知り、施設の担当者に相談した。施設側は当初応じなかったが、昨年、週30時間の契約で加入できた。

男性は、将来の年金受給額のことなどを考えなければ施設で働く時間をあと少し減らして通訳の仕事を増やしたいと思っている。「収入を1カ所に依存しない働き方は今後広がると思うが、今の制度は、1カ所で長時間働いて保険料を半分負担してもらうか、自営業として高い保険料を自分で払うか、結果的に二者択一を迫っている」と首をかしげる。

「はたらく女性の全国センター」（ACW2）が6月、兼業する人にネット上で調査を実施。回答者121人のうち本業の雇用形態はパート（46人）、税込み年収は200万～249万円（26人）、150万～199万円（22人）の順に多かった。兼業理由は73人が「生活できないから」を選んだ。労働時間は、一般的なフルタイムに相当する週40～45時間（45人）、次いで50時間以上（24人）で大半を占めた。年金は厚生年金・共済年金が57人だが、国民年金（第1号）も48人いた。

兼業でもそれぞれの勤務先で条件を満たせば社会保険に加入できる。しかし複数事業所の労働時間を合算して加入条件を満たすことはできないため、労働時間は長くなりがちだ。企業側も年金事務所の手続きが煩雑だ。結果を分析したノンフィクションライターの飯島裕子さんは「今の制度は実態に合わないのでは。根本から見直しを」と話す。

国民健康保険や国民年金はもともと、老後に自分で備える自営業や農業を想定していた。だが、加入する就業者を見ると、雇われて働く人が約4割を占める＝グラフ（国民年金被保険者実態調査）。

日本総合研究所の山田久副理事長は「非正規雇用は増加したうえ、中身も多様化している」と指摘する。

就職氷河期世代を中心に、非正規でも世帯の生計を担う人が増加。ウェブを通して単発の仕事を請け負う「ギグ・エコノミー」の進展で、正社員の仕事の一部は外部に切り出すのが容易になった。社員とフリーランスとの代替も進む。

山田さんは、「日本は自営業と被用者とで制度に大きな差があるが、双方を行き来する人は増えている。一部のフリーランスは発注者にも保険料の一部負担を課すドイツの例もある」と話す。

毎日 12/4

K 12/16

「白いハッカー」に高額報酬

グーグル、1.6億円用意

データ防衛 敵を味方に

データ漏洩リスクなどIT（情報技術）システムの脆弱性を見つけた外部ハッカーに企業が報奨金を払う動きが世界で広がっている。経済のデジタル化でソフトウエアが組み込まれた製品が増え、製造業も含めて不具合への対応が喫緊の課題になっている。米グーグルが優秀なハッカーに1億6000万円超を用意するなど報奨金額は増加の傾向だ。**サイバー防衛（3面きょうのことば）**にハッカーを味方につける仕組みができつつある中、日本企業の動きは鈍い。

「ハッカーに最大150万ドル（約1億6400万円）払う」。11月にグーグルが発表した金額に日本のあるセキュリティー企業幹部は目を疑った。グーグルは2010年からソフトの不具合を見つけたハッカーに報奨金を払ってきた。今回、スマートフォン基本ソフト（OS）「アンドロイド」の遠隔操作につながるバグ（欠陥）発見への報酬を20万ドルから大幅に引き上げた。公表ベースでは産業界で過去最大額だ。

ソフトの不具合を利用して悪事を働くこともあるハッカーだが、ホワイトハッカーと呼ばれる「善意」のハッカーを活用する企業が増えている。米テスラや米スターバックスなど多様な企業が報酬制度を導入した。

報奨金も上昇気味。米ハッカーワンの調査によるとハッカーへの世界での平均報奨額は18年に約3380ドルと2年間で7割増えた。アップルも8月、金額を20万ドルから100万ドルに増やした。

バグ報奨金制度の利用企業

	企業名	最高金額（ドル）
海外	グーグル（米）	150万
	アップル（米）	100万
	テスラ（米）	1万5000
	グラブ（シンガポール）	1万
	FCA（欧米）	7500
	スターバックス（米）	4000
日本	トヨタ	お礼のみ
	NEC	制度なし
	富士通	制度なし

背景にあるのは経済のデジタル化だ。あらゆる産業や組織がサイバー攻撃の危険性にさらされるようになった。

欧米フィアット・クライスラー・オートモービルズ（FCA）は15年、主力車の「ジープ」がハッキングにあった。ハッカーが公開した実験で、人が高速道路を運転中に遠隔からエンジンを止めることに成功した。実験を受けFCAはリコールに追い込まれた。

日本経済新聞が取材した複数のハッカーによると、日本では古いビルの管理システムを通じてオフィスビルの空調をまるごと止められる恐れがあるという。地方金融機関のほとんどで外部パソコンからATMに侵入できるリスクも指摘されている。あるハッカーは「預金残高を書き換えることも可能だ」と話す。

実際に攻撃を受けると影響は大きい。対応費用やブランドの毀損を考えると、高く見える報奨金も「割安」（LINEサイバーセキュリティ室の市原尚久室長）とみる企業は増えている。

ハッカー活用で日本企業は出遅れている。トヨタ自動車は外部ハッカーによるサイトのバグ発見の仕組みを持つが、車は対象外。報酬は感謝の「お礼」だけで金銭はない。NECや富士通は報酬制度がない。国内のハッカー関係者は「不具合を認めたくない企業文化が日本にはある」と話す。

テスラは重要な脆弱性を見つけたハッカーの名前を公表しさらなる貢献を促している。サイバー防衛が複雑さを増す中、ハッカーを味方につける知恵が日本企業にも問われている。（小河愛実）

日経 12/16

④ ㋐

不正アクセス 成績表改ざん

マ 12/19

新潟中3・書類送検

中学校の教員用タブレット端末を自宅からスマートフォンで遠隔操作し、自身の成績を改ざんしたとして、新潟県長岡市の中学校に通う3年の男子生徒を、新潟県警が不正アクセス禁止法違反などの容疑で書類送検したことが18日、捜査関係者への取材で判明した。生徒は今年9～10月、サーバーにパスワードを盗んで不正アクセスし、成績を改ざんしたとされる。「良い成績を親に見せたかった」と話しているという。【井口彩】

毎日 12/19

正解がいくつもあるテスト

マ 12/16

中学生　霜田　智颯13（東京都目黒区）

「ピラミッドは○○でできている」。ある日、社会の先生がこんな題名で宿題を出した。しかも、こんなことまで言うのだ。「この問題はそのまま2学期の期末テストに出します」と。

私は最初、びっくりした。テストの中身を明らかにしてしまっているからだ。しかも、この問題で問われているのはピラミッドの材料ではなく「ピラミッドは何によってできたか」だ。つまり、答えは考えようでいくつもあるのだ。

この問題は、私たちの先輩にも出していたらしく、先生が解答例を教えてくれた。ある先輩は「石」と書いてバツをつけ、その下に「意志」と書いていた。また、ある先輩は「水」と書いていた。ピラミッドで有名なエジプトには世界最長のナイル川が流れているため、「水」という答えにしたと考えられる。

私は驚き、授業中も家に帰っても懸命に自分の答えを探した。そして、この問題は予告通りテストに出題された。私は答えに「エジプト」と書いた。

毎日 12/16

失敗から何を学ぶかが大事

マ 11/29

中学生　今井　藍子13（神奈川県愛川町）

私は今年、中学校に入学してから、失敗をするようになった。忘れ物や落とし物、友達関係など数え切れないほどだ。けれども、その失敗から多くのことを学んだ。同じ間違いをしないために、どんな対策をすればいいのか考えることができるようになった。大事なのは失敗しないことではなく、失敗から何を学ぶか、ということだ。

私はそのことを父から教わった。父は「失敗は悪いことじゃない。大事なのは対策を考えること」と言ってくれた。その後、私はこの言葉を教訓にしてきた。そのおかげもあって、入学当初より失敗は随分と減った。

失敗は成功のもと、という。失敗したからこそ気づくこと、分かることがある。失敗していいわけじゃないけれど、失敗は神様が与えてくれたチャンスだと思って、これからの人生を過ごしていきたい。

毎日 11/29